

VI 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、教職員が職務に専念できる体制を整備する

基本施策	達成指標番号	達成指標	H20	H27実績	(H27)最終目標	進捗区分	担当所管	7年間を通じての考察等
(14) 信頼される教職員の確保	61	教員採用選考において、インターンシップ研修生が本市を受験する率	77%	94%	95%	○	教職員課	[62]◎「免許外教科担任の許可申請件数」について 本務者で免許外教科担任を申請しないで済むように、人事配置の面で努力してきた。平成23年度は59件、平成24年度は57件と目標に達しなかったが、その後本務者が配置できない場合は、当該教科の免許をもった講師を探して配置できるよう努めるなど対応を進め、平成27年度には49件となった。
	62	免許外教科担任の許可申請件数	50件	49件	53件	◎	教職員課	
(15) 教職員の資質・指導力の向上	63	基本研修受講者の満足度	80%	97%	90%	◎	教育センター	【参考】 免許外教科担任の千葉県全体の許可申請件数は平成24年度が277件(千葉市の割合20.6%)、平成25年度が252件(千葉市の割合17.9%)、平成26年度が345件(千葉市の割合13.6%)平成27年度が372件(千葉市の割合13.2%)であった。 [63]◎「基本研修受講者の満足度」について 学校現場の課題は日々変化している。その変化に対応するため、受講生に対してアンケート調査を実施してきた。今後も継続して取り組んでいく。 アンケートの結果を次年度の研修に反映させたことで、平成27年度は満足度が上昇したと考えられる。 [70]◎「学校管理訪問の年間実施学校数の割合」について 着実に毎年、全校の3分の1の学校に対して実施してきたが、施設の安全点検ばかりでなく、個人情報保護及び情報公開や、学校の防災体制の整備などについての点検内容の充実を進めていく。 [71]○「NPO人材の活用小学校数」について 多種多様な支援の方法があるため、各学校でそのニーズに合わせて支援員を派遣配置できる。特別な支援が必要な子どもにきめ細かに指導するため、希望する学校が増えている。 [75]◎「学校問題解決支援体制の整備」について 学校問題解決支援体制の整備を進め、平成27年度は3件の解決にあたった。特に困難な案件について対応し、教職員の負担軽減に寄与した。
	64	全教職員に対する専門研修受講者の割合	94%	100%	100%	◎	教育センター	
	65	現場研修員、長期研修生、海外派遣研修の研究・研修成果の発表	全研修員による実施	全研修員による実施	継続	◎	指導課	
	66	研究指定校の報告会参加人数	1,264人	1,511人	1,700人	△	指導課	
	67	教職員教育研究発表会の応募教科・領域等の割合	54%	74%	80%	△	教育センター	
	68	出前講座等により研究成果を校内研究で取り上げる学校の割合	16%	40%	42%	○	教育センター	
	69	教育研究奨励賞受賞者累計数	994人	1,169人	1,169人	◎	指導課	
(16) 教職員への支援体制の充実	70	学校管理訪問の年間実施学校数の割合	全校の3分の1実施	全校の3分の1実施	継続	◎	学事課 教職員課	
	71	NPO人材の活用小学校数	—	82校	90校	○	指導課	
	72	〃 活用中学校数	—	21校	30校	△	指導課	
	73	教員の校務用コンピュータ整備率	17.6%	88.6%	100%	○	教育センター	
	74	教員の勤務負担への教育委員会の対応(勤務による負担が減少したと感ずる教員割合)【H23年度新規】	10.4% (H24)	19.2%	50%	△	教職員課	
(17) 教職員の人事管理の適正化	75	学校問題解決支援体制の整備	—	整備	整備	◎	指導課	
	76	全市立学校長を対象とした目標申告に関する面接の実施	—	実施	継続	◎	教職員課	
	(再掲)	教育研究奨励賞受賞者累計数	(69の再掲)					